

11.13 市大教組ストを支援しよう!

公学校・公務員共闘会等の単産のストライキを支援しよう

統一への アピール

全学連支持会議

当日9:30 教生集

安保・沖繩での持続的 共闘を!

全民主勢力の

総評、中産労働者下下の民間労組、公務協、公務員共闘など約八十単産は
 きたる十一月十三日、公務員賃上げ、物価値上げ反対、「合理化」反対、
 年末一時金などの経済的要求と、佐藤訪米反対、安保廃止沖繩全面返還な
 ど政治的要求をかかげ、せいにもストライキ、駆場集会にはいる。又沖
 繩においても全学連、沖繩県労協が本土の労働者に連帯してストライキ
 に突入する。これはいま労働者の中にある経済的及び政治的がいかく根柢
 いものであるかを物語っている。民間産業に於ては労働者の権利は完全
 基しく、又公務員賃金についても政府が人事院報告を完全に実施しよう
 としないことや「合理化」のおしつけなどに労働者の怒りは高まっている
 。一方佐藤首相は訪米によりニクソン大統領との間に安保条約の一歩の侵
 略的強化と日本全土を現在の沖繩と同様に米軍の「自由発進基地」とする
 ことをとりきめようとしている。独占資本は接見発言に聞かれるように
 「自主防衛」の名のもとに自衛隊の大幅の増強と海外派兵、徴兵制をふ
 くむ軍国主義の全面復活の条件をつくらうとし、「憲法九条の改正」まで
 公言している。こうした時、労働者が切実な経済的要求と佐藤訪米反対な
 ど政治的要求を結びつけ実行する事は重大な意義をもつ。政府独占資
 本がこの斗争を、必死にきりくずそうとしているのは、佐藤訪米を前にし
 ていかにこの斗争をおとれかざしめしている。我々は労働者のこう
 した斗争を支持しその成功を願うものである。七〇年を前に各駆場、学回
 に闘うエネルギーと統一の条件はますます強まっている。さきに「一日共
 闘」とはいえ、10・21統一行動が成功したことは、政治的課題を正面から
 かがげた斗争への労働者の関心と意欲を大きく高めている。そのようの中
 へ全民主勢力の持続的共闘の確立に対する期待も強まっている。全自連、
 民放労連など三十八単産は五日連名で全民主勢力の持続的、恒久的な共闘
 の実現を訴えるアピールを出した。これには回切、口教組、全道労協、
 食品労連など多くの組合の代表者が賛意と共闘を表明している。これら
 のことは全民主勢力の共闘をのぞむ労働者の希望がいかにつよいかと認め
 している。日本の真の独立、平和、民主主義を実現する道が、全民主勢力
 の統一の団結であり、一部の「反戦派労働者」「全共闘」の運動などでは
 ないという事は明白である。

市大においても教組がこの日、人事院勧告完全実施、安保廃止、沖繩全
 面返還などをかかげストライキを行使する。我々はこれを断固支持し、
 その成功を願い、支援の学内集会を開く。多くの学友がこれに反起し労働
 者との連帯を求め共に闘う決意を固めようではないか。大阪に於ては
 「反戦青年委員会」など異力組織集用の問題をめぐって幅広い民主勢力が統
 一戦線は結成されたい。これは極めて残念な状態である。我
 々は、権力と争い民主勢力のかく乱を第一目的とする「全共闘」「反戦
 青年委員会」を排斥し孤立させ、全民主勢力が団結して闘うことを願い、
 そのために奮闘する。

11.13 市大スト支援 教生
市大生同集會